

**FS 3068**

NET-Q MONITOR

取扱説明書

# 目次

1. はじめに .....	1
2. 仕様 .....	1
2.1 概要.....	1
2.2 特長.....	1
2.3 規格.....	2
2.3.1 STATUS 表示 .....	2
2.3.2 STATUS LOG 表示 .....	2
2.3.3 一般仕様.....	2
3. 放送局間制御信号比較監視オプションのインストール .....	3
3.1 インストールを始める前に.....	3
3.2 インストール手順.....	4
4. 機能と操作 .....	6
4.1 監視項目.....	6
4.2 STATUS 表示 .....	8
4.3 STATUS LOG 表示 .....	12
4.4 キーロック.....	13
4.5 外部アラーム出力.....	13
5. システム設定 .....	14
5.1 NET-Q エラー設定 1 (NET-Q SETUP1) .....	14
5.2 NET-Q エラー設定 2 (NET-Q SETUP2) .....	17
5.3 NET-Q エラー設定 3 (NET-Q SETUP3) .....	21
5.4 外部アラーム出力設定 (PLATFORM SETUP : REMOTE) .....	23

## 1. はじめに

FS 3068 「NET-Q MONITOR」はLV 5800 専用のソフトウェアです。  
LV 5800 の使用方法については本体の取扱説明書をご覧ください。

## 2. 仕様

### 2.1 概要

本オプションはSDI入力ユニット(LV58SER01 又はLV58SER01A)が実装されたLV5800を対象としており、本オプションがインストールされると、標準品の一部の機能が除外され、放送局間制御信号データの監視機能が利用できるようになります。監視機能のうち、STATUS表示では、SDI信号に重畳された放送局間制御信号データパケットの監視を行い、その監視結果やデータを表示することができます。また、STATUS LOG表示では、監視ログの確認や、ログファイルの保存をすることができます。その他、キーロックや外部アラーム出力の機能など、放送局間制御信号データの監視に有用な機能を備えています。

### 2.2 特長

- **単体監視機能**

SDI入力ユニットの入力信号に重畳されている放送局間制御信号データパケットに対して、データの内容が規格や運用に従ったものであることをチェックできます。

- **比較監視機能**

SDI入力ユニットの2入力信号に重畳されている放送局間制御信号データパケットの比較を行い、これらが等しいものであるかをチェックできます。

- **2系統同時監視**

単体監視機能と比較監視機能を合わせ持つため、2入力信号の同時監視が可能です。

- **詳細な監視条件設定**

放送局間制御信号データパケットを構成する複数のデータ項目に対して、項目毎に監視機能のON/OFFやエラー検出条件の詳細な設定をすることができます。

- **ログ機能**

監視結果のロギングを行い、表示及びUSBメモリーへの保存ができます。

- **外部アラーム出力**

リモート端子からのアラーム出力を利用して、監視結果を外部に出力することができます。

- **キーロック機能**

キーロック機能を備えており、誤った設定更新や誤操作の防止に役立ちます。

## 2.3 規格

### 2.3.1 STATUS 表示

対応規格	ARIB STD-B39、ARIB TR-B23
対応フォーマット	1125i/59.94、525i/59.94
表示内容	
単体監視表示	対応規格又は運用に従ったエラーチェック結果
比較監視表示	2 入力間の差異の有無の検出結果
表示モード	2 種類 (HOLD / REAL)
外部アラーム出力	STATUS 画面表示時に有効 リモート端子 25pin (ALRAM4) から出力

### 2.3.2 STATUS LOG 表示

表示内容	監視結果のログ
外部データ出力	USB メモリーにテキスト形式で保存
外部アラーム出力	STATUS LOG 画面表示時に有効 リモート端子 25pin (ALRAM4) から出力

### 2.3.3 一般仕様

付属品	取扱説明書..... 1
-----	--------------

### 3. 放送局間制御信号比較監視オプションのインストール

放送局間制御信号比較監視オプションの機能は、USB メモリーからインストールすることによって使用することができるようになります。下記の手順に従ってインストールを行ってください。

#### 3.1 インストールを始める前に

- 本製品の対象機種は LV 5800 のみとなります。LV 5800 以外の機器に USB メモリーを接続しないでください。
- 本オプションを使用するためには、LV5800 に LV58SER01 (SDI INPUT unit) または LV58SER01A (SDI INPUT) が実装されていることが必要です。
- 本オプションのインストールにより、LV58SER01 (SDI INPUT unit) または LV58SER01A (SDI INPUT) の以下の機能がなくなります。
  - ピクチャー表示でのガンマットエラー表示
  - ステータス表示でのガンマットエラー、コンポジットガンマットエラーの検出及び表示
  - ピクチャー表示でのクローズドキャプション (EIA-708、EIA-608、VBI) 表示
  - ステータス表示でのクローズドキャプション (EIA-708、EIA-608、プログラム、VBI) 表示
  - オーディオ表示でのドルビーフレームロケーション表示
- USB メモリーに収録されている内容を、弊社の許諾を得ずに複製、転載することを禁じます。なお、他の USB メモリーに内容をコピーしても、その USB メモリーから本オプションをインストールすることはできません。
- 一度インストールを行うと、USB メモリーで他の機体にインストールすることができなくなります。
- USB メモリーの取り扱いについて、以下の事項に注意してください。
  - 端子部には触れないでください。
  - 熱、水分、直射日光を避けてください。
  - 衝撃を与えないでください。
  - 動作中は抜かないでください。

## 3.2 インストール手順

### 1 バージョンが 8.0 以降であることを確認します。

LV 5800 のファームウェアバージョンが 8.0 以降であることを確認します。バージョンが 8.0 以前るとき、本製品をインストールすることはできません。バージョンは以下の二通りの方法で確認することができます。

#### ●起動画面で確認

電源を入れた後に表示される起動画面で確認します。

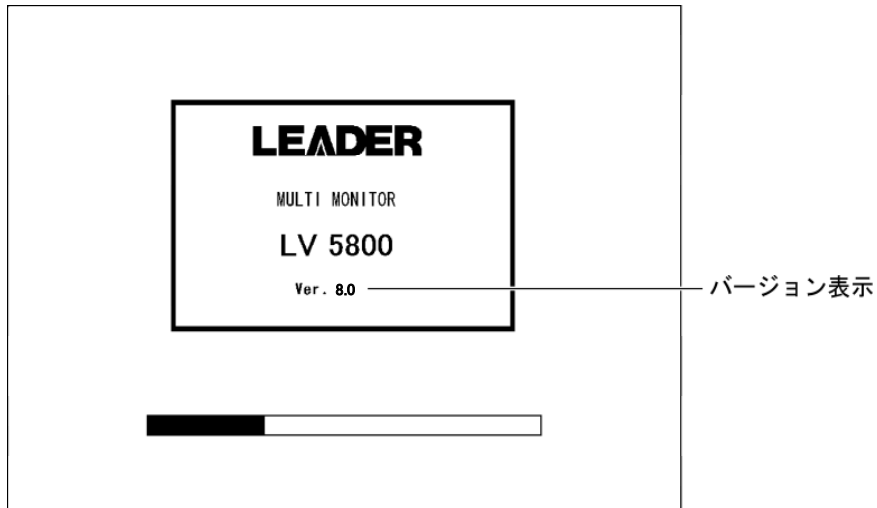


図 3-1 起動画面

#### ●実装ユニット表示画面で確認

実装ユニット表示画面は、**[SYS]** → **[F・5]** SYSTEM INFORMATION の順にキーを押すと表示されます。Firmware の欄でバージョンを確認してください。

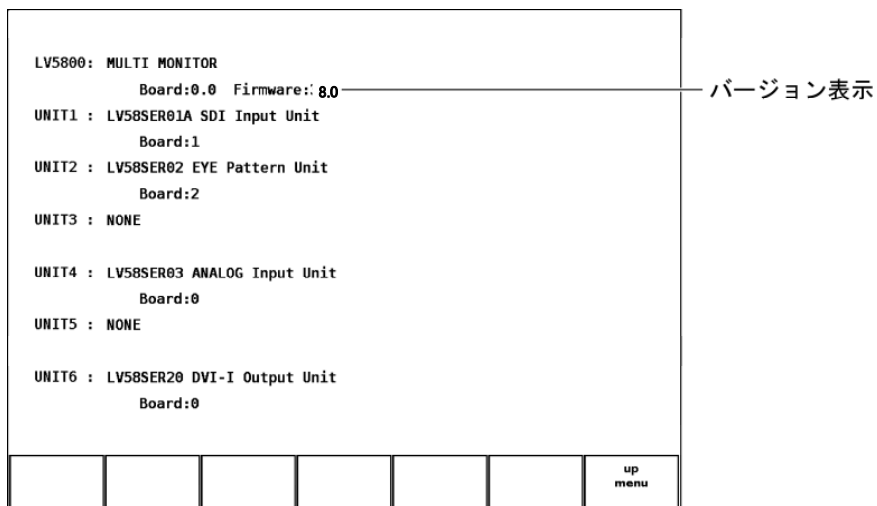


図 3-2 実装ユニット表示画面

### 2 LV 5800 の電源を切ります。

- 3 USB コネクタに USB メモリーを接続して、電源を入れなおします。

電源を入れると自動的に本オプションがインストールされます。測定画面が表示されたらインストール完了です。起動中は USB メモリーを抜かないでください。

- 4 実装ユニット表示画面で「NETQ\_STATUS」の文字が表示されていることを確認します。

正常にインストールが行われたことを確認するために、再度電源を入れなおした後、**[SYS]** → **[F・5]** SYSTEM INFORMATION の順にキーを押して、Firmware の欄に「NETQ\_STATUS」の文字が表示されていることを確認します。確認後、USB メモリーを抜いてください。

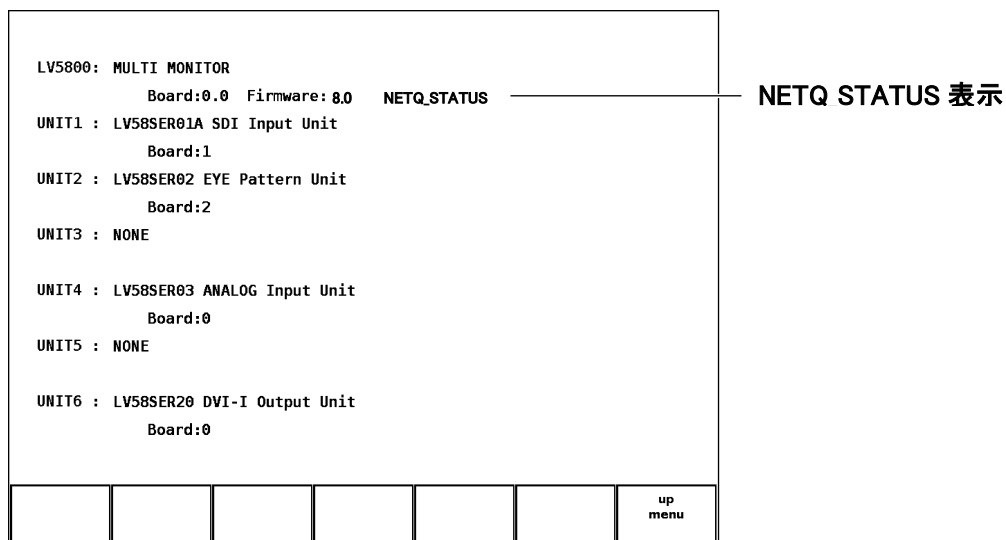


図 3-3 実装ユニット表示画面

## 4. 機能と操作

本章では、監視項目と各機能の表示と操作について解説します。

### 4.1 監視項目

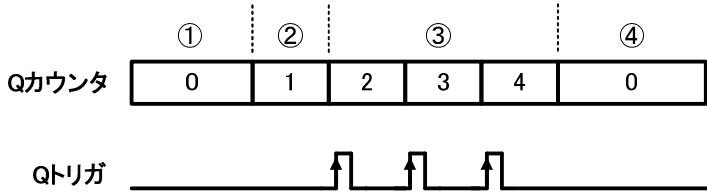
各監視項目の名称と監視内容を下記の表 4-1 に示します。  
これらは STATUS 表示、STATUS LOG 表示で共通の内容となります。

表 4-1 監視項目の名称と監視内容

項目名	監視機能	監視内容
SIGNAL	単体監視	SDI 信号の有無を監視。
	比較監視	監視対象外
PACKET	単体監視	放送局間制御信号データパケットの有無を監視。
	比較監視	監視対象外
LINE NO	単体監視	パケットの重畳位置が規格 (ARIB TR-B23) に準拠していることを監視。
	比較監視	監視対象外
DC VALUE	単体監視	パケットのデータカウントが 255 であることを監視。
	比較監視	監視対象外
ERROR CORRECTION	単体監視	誤り訂正が有りとなっていることを監視。
	比較監視	監視対象外
CONTINUITY INDEX	単体監視	パケットの連続性が保たれていることを監視。
	比較監視	監視対象外
STATION CODE	単体監視	監視対象外
	比較監視	Ach と Bch の発局コードの先頭 3 文字が等しいことを監視。
DATE&TIME	単体監視	監視対象外
	比較監視	Ach と Bch の発局時刻(ミリ秒部を除く)が等しいことを監視。
VIDEO CURRENT	単体監視	カレント映像モードが規定値と等しいことを監視。
	比較監視	監視対象外
DISPLAY AREA ASPECT (CURRENT)	単体監視	表示領域のアスペクト比が規定値と等しいことを監視。
	比較監視	監視対象外
VIDEO NEXT	単体監視	ネクスト映像モードが規定値と等しいことを監視。
	比較監視	監視対象外
DISPLAY AREA ASPECT (NEXT)	単体監視	表示領域のアスペクト比が規定値と等しいことを監視。
	比較監視	監視対象外
VIDEO COUNTDOWN	単体監視	カウントダウンが以下の条件を満たしていることを監視。 ・規格 (ARIB STD-B39) に準拠したカウントダウンが行われていること。 ・カウントダウン開始値が規定の条件を満たしていること。
	比較監視	監視対象外
AUDIO CURRENT	単体監視	カレント音声モードが規定値と等しいことを監視。
	比較監視	Ach と Bch の音声モードが等しいことを監視。
AUDIO NEXT	単体監視	ネクスト音声モードが規定値と等しいことを監視。
	比較監視	Ach と Bch の音声モードが等しいことを監視。
DOWN MIX CURRENT	単体監視	カレント DM 指定が規定値と等しいことを監視。
	比較監視	Ach と Bch の DM 指定が等しいことを監視。
DOWN MIX NEXT	単体監視	ネクスト DM 指定が規定値と等しいことを監視。
	比較監視	Ach と Bch の DM 指定が等しいことを監視。



表 4-1 監視項目の名称と監視内容

項目名	機能	監視内容
AUDIO COUNTDOWN	単体監視	カウントダウンが以下の条件を満たしていることを監視。 ・規格 (ARIB STD-B39) に準拠したカウントダウンが行われていること。 ・カウントダウン開始値が規定の条件を満たしていること。
	比較監視	監視対象外
Q TRIGGER SIGNAL	単体監視	監視対象外
	比較監視	選択された Ach と Bch の Q トリガ信号が等しいことを監視。
Q COUNTER	単体監視	<p>選択された Q カウンタが以下①～④の条件を満たしていることを監視。</p>  <p>①カウント停止中： カウンタが 0。Q トリガは変化なし。</p> <p>②カウント開始： カウンタが 1、規定のタイミングを満たして Q トリガが変化。</p> <p>③カウント中： 規定のタイミングを満たして Q トリガが変化し、トリガの変化に伴ってカウンタが 1 ずつ増加。</p> <p>④カウント終了： カウンタが 0、Q トリガは変化なし。</p> <p>カウンタ値が 0 及び 255 以外のときに入力信号の抜き差しや、監視条件の設定変更をしないでください。正常な監視が行えません。</p>
	比較監視	Ach と Bch の Q カウンタが等しいことを監視。
Q COUNTDOWN	単体監視	選択された Q カウントダウンが以下の条件を満たしていることを監視。 ・規格 (ARIB STD-B39) に準拠したカウントダウンが行われていること。 ・カウントダウン開始時に Q トリガ信号が '1' となっていること。 ・カウントダウン開始値が規定の条件を満たしていること。
	比較監視	監視対象外
STATUS SIGa	単体監視	監視対象外
	比較監視	選択された Ach と Bch の S ステータス信号が等しいことを監視。
STATUS SIGb	単体監視	監視対象外
	比較監視	選択された Ach と Bch の S ステータス信号が等しいことを監視。
STATUS SIGc	単体監視	監視対象外
	比較監視	選択された Ach と Bch の S ステータス信号が等しいことを監視。
ECC	単体監視	ヘッダワード以外の UDW にデータの誤りがないことを監視
	比較監視	監視対象外
CS	単体監視	チェックサムエラーの監視
	比較監視	監視対象外

## 4.2 STATUS 表示

STATUS 表示は、監視結果の表示画面です。ITEM/TOTAL JUDGE、ACH、BCH、COMPARE の表示列があり、ACH と BCH の表示列は単体監視結果表示領域、COMPARE 表示列は比較監視結果表示領域となっています。ITEM/TOTAL JUDGE 表示列は、項目名と監視結果総合判定の表示領域であり、ACH、BCH、COMPARE のいずれかにエラーがあった場合にエラーとなります。全ての監視結果は文字表示色で表現され、シアンが正常、赤が異常、黄が異常検出履歴あり、というように表示されます。なお、設定により監視対象から除外された監視項目はブランク表示となります。

### ●操作

**STATUS** → **F.5** ANC PACKET → **F.4** V-ANC ARIB → **F.2** NET-Q → **F.1** DISPLAY : TEXT / DUMP / Q LOG / **STATUS** / STATUS LOG

1080i/59.94 YCbCr(422) 1/A INT 2006/ 5/13 01:34:04			
INTER-STATIONARY CONTROL DATA ARIB STD-B39			
ITEM/TOTAL JUDGE	ACH	BCH	COMPARE
SIGNAL	DETECT	DETECT	-----
PACKET	DETECT	DETECT	-----
LINE NO	NORMAL	NORMAL	-----
DC VALUE	NORMAL	NORMAL	-----
ERROR CORRECTION	NORMAL	NORMAL	-----
CONTINUITY INDEX	NORMAL	NORMAL	-----
STATION CODE	NTV-E	NTV-E	NORMAL
DATE & TIME			NORMAL
VIDEO CURRENT	1125i/29.97	1125i/29.97	-----
DISPLAY AREA ASPECT	16:9	16:9	-----
VIDEO NEXT	1125i/29.97	1125i/29.97	-----
DISPLAY AREA ASPECT	16:9	16:9	-----
VIDEO COUNTDOWN	NORMAL	NORMAL	-----
AUDIO CURRENT	5.1	5.1	NORMAL
AUDIO NEXT	S	S	NORMAL
DOWN MIX CURRENT	NOT USED	NOT USED	NORMAL
DOWN MIX NEXT	NOT USED	NOT USED	NORMAL
AUDIO COUNTDOWN	NORMAL	NORMAL	-----
Q TRIGGER SIGNAL			NORMAL
Q COUNTER	2( 1)	2( 1)	NORMAL
<b>Q COUNTDOWN</b>	<b>NORMAL</b>	<b>NORMAL</b>	-----
STATUS SIGa	0	0	NORMAL
STATUS SIGb	0	0	NORMAL
STATUS SIGc	0	0	NORMAL
<b>ECC</b>	<b>ERROR</b>	<b>ERROR</b>	-----
CS	NORMAL	NORMAL	-----

DISPLAY				ERROR	up
STATUS				CLEAR	menu

**F.1** → TEXT、DUMP、Q LOG、STATUS、STATUS LOG の切り換え。

**F.6** → エラー履歴(黄色表示)のクリア。HOLD モード時のみ有効。

**F.7** → 上位のメニュー階層へ移る (**STATUS** → **F.5** ANC PACKET → **F.4** V-ANC ARIB)

●表示内容

STATUS 表示での各監視項目の表示内容を表 4-2 に示します。

表 4-2 監視結果の表示内容

項目名	表示領域	表示内容
SIGNAL	ACH、BCH	DETECT(シアン):信号検出 MISSING(赤):信号未検出 DETECT(黄):検出、未検出履歴あり(HOLDモード時) *MISSINGの場合、SIGNAL以外の全項目がブランク表示。
	COMPARE	----- (白):監視対象外
PACKET	ACH、BCH	DETECT(シアン):パケット検出 MISSING(赤):パケット未検出 DETECT(黄):検出、未検出履歴あり(HOLDモード時) *MISSINGの場合、SIGNALとPACKET以外の全項目がブランク表示。
	COMPARE	----- (白):監視対象外
LINE NO	ACH、BCH	NORMAL(シアン):正常 ERROR(赤):異常 NORMAL(黄):正常、異常検出履歴あり(HOLDモード時)
	COMPARE	----- (白):監視対象外
DC VALUE	ACH、BCH	NORMAL(シアン):正常 ERROR(赤):異常 NORMAL(黄):正常、異常検出履歴あり(HOLDモード時)
	COMPARE	----- (白):監視対象外
ERROR CORRECTION	ACH、BCH	NORMAL(シアン):正常 ERROR(赤):異常 NORMAL(黄):正常、異常検出履歴あり(HOLDモード時) *ERRORの場合、ECCの項目が----- (白)表示。
	COMPARE	----- (白):監視対象外
CONTINUITY INDEX	ACH、BCH	NORMAL(シアン):正常 ERROR(赤):異常 NORMAL(黄):正常、異常検出履歴あり(HOLDモード時)
	COMPARE	----- (白):監視対象外
STATION CODE	ACH、BCH	発局コードの先頭5文字(白):監視対象外
	COMPARE	NORMAL(シアン):正常 ERROR(赤):異常 NORMAL(黄):正常、異常検出履歴あり(HOLDモード時)
DATE&TIME	ACH、BCH	----- (白):監視対象外
	COMPARE	NORMAL(シアン):正常 ERROR(赤):異常 NORMAL(黄):正常、異常検出履歴あり(HOLDモード時)

表 4-2 監視結果の表示内容

項目名	表示領域	表示内容
VIDEO CURRENT	ACH、BCH	映像モード(シアン)：正常 映像モード(赤)：異常 映像モード(黄)：正常、異常検出履歴あり (HOLD モード時)
	COMPARE	----- (白)：監視対象外
DISPLAY AREA ASPECT (CURRENT)	ACH、BCH	表示領域のアスペクト比(シアン)：正常 表示領域のアスペクト比(赤)：異常 表示領域のアスペクト比(黄)：正常、異常検出履歴あり (HOLD モード時)
	COMPARE	----- (白)：監視対象外
VIDEO NEXT	ACH、BCH	映像モード(シアン)：正常 映像モード(赤)：異常 映像モード(黄)：正常、異常検出履歴あり (HOLD モード時)
	COMPARE	----- (白)：監視対象外
DISPLAY AREA ASPECT (NEXT)	ACH、BCH	表示領域のアスペクト比(シアン)：正常 表示領域のアスペクト比(赤)：異常 表示領域のアスペクト比(黄)：正常、異常検出履歴あり (HOLD モード時)
	COMPARE	----- (白)：監視対象外
VIDEO COUNTDOWN	ACH、BCH	NORMAL(シアン)：正常 ERROR(赤)：異常 NORMAL(黄)：正常、異常検出履歴あり (HOLD モード時)
	COMPARE	----- (白)：監視対象外
AUDIO CURRENT	ACH、BCH	音声モード(シアン)：正常 音声モード(赤)：異常 音声モード(黄)：正常、異常検出履歴あり (HOLD モード時)
	COMPARE	NORMAL(シアン)：正常 ERROR(赤)：異常 NORMAL(黄)：正常、異常検出履歴あり (HOLD モード時)
AUDIO NEXT	ACH、BCH	音声モード(シアン)：正常 音声モード(赤)：異常 音声モード(黄)：正常、異常検出履歴あり (HOLD モード時)
	COMPARE	NORMAL(シアン)：正常 ERROR(赤)：異常 NORMAL(黄)：正常、異常検出履歴あり (HOLD モード時)
DOWN MIX CURRENT	ACH、BCH	DM 指定値(シアン)：正常 DM 指定値(赤)：異常 DM 指定値(黄)：正常、異常検出履歴あり (HOLD モード時)
	COMPARE	NORMAL(シアン)：正常 ERROR(赤)：異常 NORMAL(黄)：正常、異常検出履歴あり (HOLD モード時)
DOWN MIX NEXT	ACH、BCH	DM 指定値(シアン)：正常 DM 指定値(赤)：異常 DM 指定値(黄)：正常、異常検出履歴あり (HOLD モード時)
	COMPARE	NORMAL(シアン)：正常 ERROR(赤)：異常 NORMAL(黄)：正常、異常検出履歴あり (HOLD モード時)

表 4-2 監視結果の表示内容

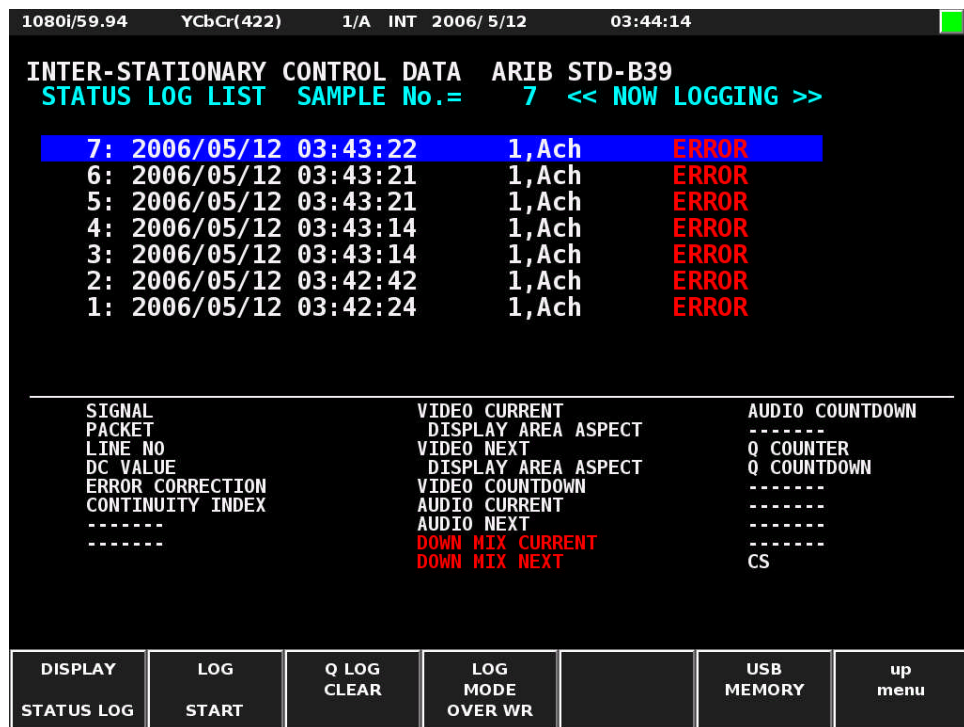
項目名	表示領域	表示内容
AUDIO COUNTDOWN	ACH、BCH	NORMAL(シアン):正常 ERROR(赤):異常 NORMAL(黄): 正常、異常検出履歴あり(HOLDモード時)
	COMPARE	----- (白):監視対象外
Q TRIGGER SIGNAL	ACH、BCH	----- (白):監視対象外
	COMPARE	NORMAL(シアン):正常 ERROR(赤):異常 NORMAL(黄): 正常、異常検出履歴あり(HOLDモード時)
Q COUNTER	ACH、BCH	Qカウンタ値とQトリガ計数値(右側括弧内)を表示し、その表示色にて以下の情報を表示。ただし、Qトリガ計数値は監視対象外。 シアン: 正常 赤: 異常 黄: 正常、異常検出履歴あり(HOLDモード時)
	COMPARE	NORMAL(シアン):正常 ERROR(赤):異常 NORMAL(黄): 正常、異常検出履歴あり(HOLDモード時)
STATUS SIGa STATUS SIGb STATUS SIGc	ACH、BCH	Sステータス信号(白):監視対象外
	COMPARE	NORMAL(シアン):正常 ERROR(赤):異常 NORMAL(黄): 正常、異常検出履歴あり(HOLDモード時)
ECC	ACH、BCH	NORMAL(シアン):正常 ERROR(赤):異常 NORMAL(黄): 正常、異常検出履歴あり(HOLDモード時) ----- (白): ERROR CORRECTIONが異常(監視対象外)
	COMPARE	----- (白)
CS	ACH、BCH	NORMAL(シアン):正常 ERROR(赤):異常 NORMAL(黄): 正常、異常検出履歴あり(HOLDモード時)
	COMPARE	----- (白)

### 4.3 STATUS LOG 表示

STATUS LOG 表示は、監視結果のログ一覧表示画面です。画面上側に全監視項目を1つにまとめたイベントログを表示し、カーソルで選択されたイベントログのエラー発生項目を画面下側に表示します。また、イベントログをUSBメモリーに保存することも可能です。

●操作

STATUS → F.5 ANC PACKET → F.4 V-ANC ARIB → F.2 NET-Q → F.1 DISPLAY : TEXT / DUMP / Q LOG / STATUS / STATUS LOG



F.1 → TEXT、DUMP、Q LOG、STATUS、STATUS LOG の切り換え。

F.2 → ロギングのスタート/ストップ。

F.3 → イベントログのクリア。

F.4 → 最大保存件数を越えたときの動作モード。

OVER WR: 古いログを捨てて上書き / STOP : ロギングの停止

F.6 → USBメモリーへの保存。(本体前面パネルにUSBメモリー接続時のみ)

詳細は「58SER01 58SER01A SDI 入力 取扱説明書」の「9.4.4. USBメモリーへの保存」をご覧ください。

F.7 → 上位のメニュー階層へ移る (STATUS → F.5 ANC PACKET → F.4 V-ANC ARIB)

## ●ログの画面表示

STATUS LOG 画面の構成は上側がイベントログ表示、下側が監視項目名の一覧表示となっています。画面上側のイベントログは、発生時刻の新しい順に表示され、ファンクションダイヤル(F・D)を右に回すとカーソルが移動して古いイベントログを選択できます。ファンクションダイヤル(F・D)を押すと、最新のイベントログがカーソル選択されます。カーソル選択されたイベントログがエラーログである場合、画面下側の監視項目名の中のエラーが発生した項目が赤字表示されます。

画面に表示されているイベントログは左側から“サンプルナンバー”、“発生日時”、“ユニット番号”、“入力チャンネル”、“イベント(ERROR/NORMAL)”となっています。“発生日時”はLV5800 本体の設定時刻です。

## ●USB メモリーへ保存されるログファイル

保存されるイベントログは左側から“サンプルナンバー”、“発生日時”、“ユニット番号”、“入力チャンネル”、“エラー発生項目”となっています。

“エラー発生項目”が複数ある場合は、エラーが発生している項目名がカンマ区切りで表示されます。保存ログ内に表示されるエラー発生項目名は、下記の2種類を除いて、STATUS LOG 画面下側に表示されている監視項目名と同じです。

- ・ カレント映像モードの DISPLAY AREA ASPECT → DISPLAY AREA ASPECT CURRENT
- ・ ネクスト映像モードの DISPLAY AREA ASPECT → DISPLAY AREA ASPECT NEXT

SDI 入力ユニットが複数実装されている場合でも、ログファイルは1つとなります。

## 4.4 キーロック

以下の操作を行うことで、キーロックできます。キーロック中は、キーロックの解除と電源オフ以外のパネル操作ができなくなります。

TELNET によるリモート操作を受けたとき、リモート端子を利用したリモート操作を受けたとき、電源の再投入が行われたときは、キーロックが自動的に解除されます。

### ●操作

- 
- 
- |         |   |
|---------|---|
| ・ キーロック | <b>SYS</b> → <b>F-4</b> KEY LOCK: <u>ENABLE</u> / DISABLE |
| ・ ロック解除 | <b>SYS</b> → <b>F-4</b> KEY LOCK: ENABLE / <u>DISABLE</u> |
- 
- 

## 4.5 外部アラーム出力

リモート端子の ALARM4 出力(25pin)が本オプション専用のアラーム出力となります。ALARM1、ALARM2、ALARM3 を本機能のアラーム出力に割り当てることはできません。そのため、SDI 入力ユニットが複数実装されている場合でも、出力できるアラームは1つとなります。

## 5. システム設定

本オプションをインストールすることにより、ユニットのシステム設定ページに NET-Q SETUP1、NET-Q SETUP2、NET-Q SETUP3 の 3 つのページが新規に追加され、これらの設定ページで監視項目の選択や規定値などをユニットごとに設定します。ユニットのシステム設定のその他の設定ページについては、ERROR SETUP3 のページが機能除外に伴い一部設定項目が削除<sup>†</sup>されますが、それ以外の操作や設定方法はインストール前と同じです。詳細については、「58SER01 58SER01A SDI 入力 取扱説明書」の「5. ユニットのシステム設定」をご覧ください。また、本体のシステム設定のリモート端子設定ページが一部変更となり、そこで外部アラーム出力の設定をします。当該変更箇所以外は標準品と同じ操作、設定方法となっています。詳細については、「LV5800 マルチモニター 取扱説明書」の「7.2.3 リモート端子の設定」をご覧ください。

<sup>†</sup>Gamut Error 及び Composite Gamut Error の ON/OFF、Area、Duration の計 6 箇所がブランク表示となります。

### 5.1 NET-Q エラー設定 1 (NET-Q SETUP1)

NET-Q SETUP1 ページでは、監視項目の選択、比較監視における 2 入力間の許容されるずれ幅の設定、リアルモードとホールドモードのいずれかの表示モードの選択を行います。

GENERAL SETUP	ERROR SETUP1	ERROR SETUP2	ERROR SETUP3	ERROR SETUP4	ERROR SETUP5	NET-Q SETUP1
NET-Q SETUP1						ACH    BCH    COMPARE
Check Channel			Error check item			
ACH	<input checked="" type="checkbox"/>	ON	<input type="checkbox"/>	OFF	DC VALUE	<input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>
BCH	<input checked="" type="checkbox"/>	ON	<input type="checkbox"/>	OFF	LINE N.O	<input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>
COMPARE	<input checked="" type="checkbox"/>	ON	<input type="checkbox"/>	OFF	ERROR CORECTION	<input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>
					CONTINUITY INDEX	<input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>
					STATION CODE	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>
Duration to recognize as error			DATA & TIME			<input checked="" type="checkbox"/>
Duration	<input type="text" value="2"/>	(2-20 Field)			VIDEO	<input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>
					AUDIO	<input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>
					Q	<input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>
Error display mode			STATUS			<input checked="" type="checkbox"/>
	<input checked="" type="checkbox"/>	HOLD	<input type="checkbox"/>	REAL	ECC	<input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>
					CS	<input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>

#### ●操作

- 
- ・ **[SYS]** → **[F.1]** UNIT SETUP → **[F.1]** ~ **[F.4]** 本ユニットが実装されているユニット番号の SETUP
  - ・ エラー設定 5 ページ (ERROR SETUP5) から **[F.3]** NEXT
  - ・ NET-Q エラー設定 2 ページ (NET-Q SETUP2) から **[F.2]** PREV
- 

#### ●各項目の設定方法

前面パネル右下のファンクションダイヤル (F・D) を使用し、設定項目のチェック、数値の入力を行います。



## ●設定項目の説明

### ・ Check Channel

チェックを付けることで、単体監視機能及び比較監視機能の ON/OFF を設定します。

ACH :	Ach 入力の単体監視機能の ON/OFF を設定します。
BCH :	Bch 入力の単体監視機能の ON/OFF を設定します。
COMPARE :	比較監視機能の ON/OFF を設定します。

なお、ACH と BCH のいずれか又は共に OFF となっている場合は、比較監視機能も OFF となります。

### ・ Duration to recognize as error

Ach と Bch の重畳データが一致しない状態が、Duration で設定したフィールド数以上続いた場合にエラーとなります。Ach、Bch 共通の設定項目です。

### ・ Error Display Mode

監視結果の表示モード(HOLD モードと REAL モード)の切換えをします。Ach、Bch 共通の設定項目です。

REAL :	チェックを付けると REAL モードに設定されます。 監視結果の表示色がシアンと赤の 2 色表示となります。 エラー未検出をシアンで、エラー検出中を赤で表現します。
HOLD :	チェックを付けると HOLD モードに設定されます。 監視結果の表示色がシアン、赤、黄の 3 色表示となります。 過去にエラーが起こっていたことを黄表示で表現します。

### ・ Error Check Item

放送局間制御信号データパケットを構成するデータ項目ごとに単体監視及び比較監視の ON/OFF 設定をします。チェックを付けることで監視対象とし、外すことで監視対象外とします。SIGNAL と PACKET の 2 項目は本設定の対象外です。

DC VALUE :	Ach の列、Bch の列のチェックボックスにより、DC VALUE の単体監視機能の ON/OFF を設定します。
LINE NO :	Ach の列、Bch の列のチェックボックスにより、LINE NO の単体監視機能の ON/OFF を設定します。
ERROR CORRECTION :	Ach の列、Bch の列のチェックボックスにより、ERROR CORRECTION の単体監視機能の ON/OFF を設定します。

CONTINUITY INDEX :	Ach の列、Bch の列のチェックボックスにより、CONTINUITY INDEX の単体監視機能の ON/OFF を設定します。
STATION CODE :	Compare の列のチェックボックスにより、STATION CODE の比較監視機能の ON/OFF を設定します。
DATE & TIME :	Compare の列のチェックボックスにより、DATE & TIME の比較監視機能の ON/OFF を設定します。
VIDEO :	Ach の列、Bch の列のチェックボックスにより、VIDEO CURRENT、VIDEO NEXT、DISPLAY AREA ASPECT、VIDEO COUNTDOWN の単体監視機能の ON/OFF を一括で設定します。
AUDIO :	Ach の列、Bch の列のチェックボックスにより AUDDIO CURRENT、AUDIO NEXT、DOWN MIX CURRENT、DOWN MIX NEXT、AUDIO COUNTDOWN の単体監視機能の ON/OFF を一括で設定します。 Compare の列のチェックボックスにより、AUDDIO CURRENT、AUDIO NEXT、DOWN MIX CURRENT、DOWN MIX NEXT の比較監視機能の ON/OFF を一括で設定します。
Q :	Ach の列、Bch の列のチェックボックスにより Q COUNTER と Q COUNTDOWN の単体監視機能の ON/OFF を一括で設定します。 Compare の列のチェックボックスにより、Q TRIGGER SIGNAL と Q COUNTER の比較監視機能の ON/OFF を一括で設定します。
STATUS :	Compare の列のチェックボックスにより、SIGa、SIGb、SIGc の比較監視機能の ON/OFF を一括で設定します。
ECC :	Ach の列、Bch の列のチェックボックスにより、ECC の単体監視機能の ON/OFF を設定します。
CS :	Ach の列、Bch の列のチェックボックスにより、CS の単体監視機能の ON/OFF を設定します。

## 5.2 NET-Q エラー設定 2 (NET-Q SETUP2)

NET-Q SETUP2 ページでは、単体監視における、映像モード、映像モードカウントダウン、音声モード、DM 指定、音声モードカウントダウンの規定値を設定します。このページの設定は Ach、Bch 共通です。

ERROR SETUP1	ERROR SETUP2	ERROR SETUP3	ERROR SETUP4	ERROR SETUP4	NET-Q SETUP1	NET-Q SETUP2
NET-Q SETUP2						
Video						
Video Payload	<input checked="" type="checkbox"/>	1125i/59.94(16:9)	<input type="checkbox"/>	525i/59.94(4:3)		
Next video mode Only	<input checked="" type="checkbox"/>	Unused	Duration	<input type="text" value="120"/>	(2-300 Field)	
Display Area Aspect	<input checked="" type="checkbox"/>	16:9	<input type="checkbox"/>	4:3		
Countdown	<input checked="" type="checkbox"/>	179 Field	<input type="checkbox"/>	119 Field	Margin	<input type="text" value="2"/> (0-5 Field)
Audio						
Audio Mode	<input checked="" type="checkbox"/>	M	<input checked="" type="checkbox"/>	2M	<input type="checkbox"/>	3M
	<input type="checkbox"/>	7M	<input type="checkbox"/>	8M	<input checked="" type="checkbox"/>	S
	<input type="checkbox"/>	3/0	<input type="checkbox"/>	2/1	<input type="checkbox"/>	3/1
	<input type="checkbox"/>	S+M	<input type="checkbox"/>	S+D	<input checked="" type="checkbox"/>	5.1+S
	<input type="checkbox"/>	5S	<input type="checkbox"/>	etc	<input type="checkbox"/>	3/1+S
	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	3/2+S
	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	9M
Next audio mode Only	<input checked="" type="checkbox"/>	Unused	Duration	<input type="text" value="120"/>	(2-300 Field)	
DOWN MIX	<input checked="" type="checkbox"/>	1/√2	<input type="checkbox"/>	1/2	<input type="checkbox"/>	1/(2√2)
	<input checked="" type="checkbox"/>	0	<input type="checkbox"/>	NOT USED		
Countdown	<input checked="" type="checkbox"/>	179 Field	<input type="checkbox"/>	119 Field	Margin	<input type="text" value="2"/> (0-5 Field)

### ●操作

- 
- ・ **[SYS]** → **[F.1]** UNIT SETUP → **[F.1]** ~ **[F.4]** 本ユニットが実装されているユニット番号の SETUP
  - ・ NET-Q エラー設定 1 ページ (NET-Q SETUP1) から **[F.3]** NEXT
  - ・ NET-Q エラー設定 3 ページ (NET-Q SETUP3) から **[F.2]** PREV
- 

### ●各項目の設定方法

前面パネル右下のファンクションダイヤル (F・D) を使用し、設定項目のチェック、数値の入力を行います。

### ●設定項目の説明

#### ・ Video

映像モード、表示領域のアスペクト比、映像モードカウントダウンの規定値を設定します。Next Video Mode Only 以外の設定項目はネクスト、カレントで共通の設定となります。

Video Payload :

映像モードの規定値の設定を行います。Display Area Aspect との組み合わせで 4 種類の映像モードを設定することができます。設定内容の詳細については以下の表 5-1 を参照してください。

表 5-1 Video Payload で設定される映像モードの属性

設定される 映像モードの属性	1125i/29.97(16:9) 選択時の設定値	525i/29.97(4:3) 選択時の設定値
バージョン識別子	'1'	'1'
映像フォーマット及び デジタルインタフェース	1125i , 1.485Gbps	525i , 270Mbps
伝送構造の走査方式	インタレース	無効( '0' )
ピクチャーの走査方式	インタレース	インタレース
フレームレート	30/1.001	30/1.001
画像アスペクト比	16:9	4:3
水平Y サンプル数	無効( '0' )	720
サンプリング構造	4:2:2 ( Y / Cb / Cr )	4:2:2 ( Y / Cb / Cr )
チャンネル割り当て	無効( '0' )	無効( '0' )
ビット深さ	10bit	10bit

Next Video Mode Only :

ネクスト映像モードの未使用コードに対するエラー検出条件の設定ができます。NOT USED にチェックが付いていない場合、未使用コードを無条件でエラー検出対象とします。NOT USED のチェックが外れている場合、Duration で設定されたフィールド数以上連続して未使用コードが検出されたときにエラーとなります。

Display Area Aspect :

映像モードデータの属性の 1 つである表示領域のアスペクト比の規定値の設定を行います。

Countdown :

映像モードカウントダウン開始値の規定値を設定します。カウントダウンの開始値を 179 Field(3 秒前カウントダウン) と 119 Field(2 秒前カウントダウン) のいずれかから選択し、許容される開始値の変動幅を Margin で設定します。例えば、2sec にチェック、Margin に 1 が設定されている場合、カウントダウンは 119±1 の範囲内の値から開始するものとして設定されます。

## ・ Audio

音声モード、DM 指定、音声モードカウントダウンの規定値を設定します。  
Next Audio Mode Only 以外の設定項目はネクスト、カレントで共通の設定となります。

Audio Mode :

音声モードの規定値の設定を行います。規定の音声モードにチェックを付けることで、チェックが外れている音声モードのみをエラー検出対象とします。規定の音声モードは複数選択することが可能です。各音声モードの名称と内容については表 5-2 を参照してください。

表 5-2 音声モードの名称

画面表示名称	ARIB STD-B39 での名称
NOT USED	未使用
M	M
2M	2M (D)
3M	3M (D+M)
4M	4M (2D)
5M	5M (2D+M)
6M	6M (3D)
7M	7M (3D+M)
8M	8M (4D)
S	S
2S	2S
3S	3S
4S	4S
3/0	3/0
2/1	2/1
3/1	3/1
2/2	2/2
3/2	3/2
5. 1	3/2+LFE (5. 1)
S+M	ステレオ・モノ (S+M)
S+D	ステレオ・2モノ (S+D)
5. 1+S	5. 1+S
3/1+S	3/1+S
3/2+S	3/2+S
9M	9M 以上 (M のみ)
5S	5S 以上 (S のみ)
etc	その他
reserved	予約

Next Audio Mode Only :

ネクスト音声モードの未使用コードに対するエラー検出条件の設定ができます。NOT USEDにチェックが付いていない場合、未使用コードを無条件でエラー検出対象とします。NOT USEDのチェックが外れている場合、Durationで設定されたフィールド数以上連続して未使用コードが検出されたときにエラーとなります。

DOWNMIX :

DM指定の規定値の設定を行います。規定のDM指定にチェックを付けることで、チェックが外れているDM指定をエラー検出対象とします。規定のDM指定は複数選択することが可能です。各DM指定の名称と内容については表5-3を参照してください。

表 5-2 音声モードの名称

表示名称	ARIB STD-B39 での名称
NOT USED	無指定
reserved	予約
$1/\sqrt{2}$	'00' [A= $1/\sqrt{2}$ ]
1/2	'01' [A=1/2]
$1/(2\sqrt{2})$	'10' [A= $1/(2\sqrt{2})$ ]
0	'11' [A=0]

Countdown :

音声モードカウントダウン開始値の規定値を設定します。カウントダウンの開始値を179 Field(3秒前カウントダウン)と119 Field(2秒前カウントダウン)のいずれかから選択し、許容される開始値の変動幅をMarginで設定します。

### 5.3 NET-Q エラー設定 3 (NET-Q SETUP3)

NET-Q SETUP3 ページでは、監視対象となる Q トリガ信号と S ステータス信号の選択、単体監視における Q カウンタと Q カウントダウンの規定条件を設定します。このページの設定は Ach、Bch 共通です。

ERROR SETUP2	ERROR SETUP3	ERROR SETUP4	ERROR SETUP5	NET-Q SETUP1	NET-Q SETUP2	NET-Q SETUP3
NET-Q SETUP3						
Q Bit		<input type="text" value="1"/>	(1-4)			
Q Counter	Margin	<input type="text" value="10"/>	( 1 - 20 field )			
Q Countdown	<input checked="" type="checkbox"/> 179 Field	<input type="checkbox"/> 119 Field		Margin	<input type="text" value="2"/>	(0-5 Field)
Status	SIGa	<input type="text" value="4"/>	(1-16)	SIGb	<input type="text" value="5"/>	(1-16)
				SIGc	<input type="text" value="6"/>	(1-16)

#### ●操作

- 
- 
- ・  →  UNIT SETUP →  ~  本ユニットが実装されているユニット番号の SETUP
  - ・ NET-Q エラー設定 2 ページ (NET-Q SETUP2) から  NEXT
  - ・ 全般設定ページ (GENERAL SETUP) から  PREV
- 
-

## ●各項目の設定方法

前面パネル右下のファンクションダイヤル(F・D)を使用し、設定項目のチェック、数値の入力を行います。

## ●設定項目の説明

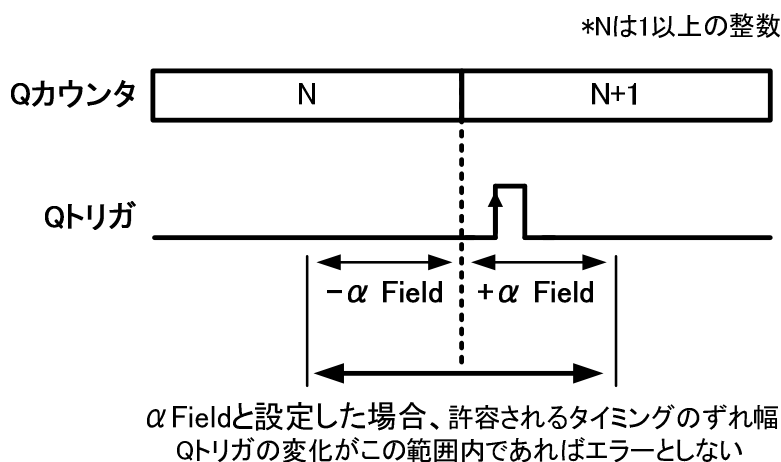
### ・ Q BIT

監視対象となる Q トリガ信号を選択します。

監視対象となる Q カウンタと Q カウントダウンもこの設定と連動して変更されます。

### ・ Q Counter

Q カウンタの変化タイミングと Q トリガ信号の変化タイミングのずれをどの程度許容するかをフィールド数で設定します。カウント停止中(カウンタ値が 0 及び 255 のとき)以外のときに監視条件の設定変更をしないでください。正常な監視が行えません。



### ・ Q Countdown

Q カウントダウン開始値の規定値を設定します。

カウントダウンの開始値を 179 Field(3 秒前カウントダウン)と 119 Field(2 秒前カウントダウン)のいずれかから選択し、許容される開始値の変動幅を Margin で設定します。

### ・ STATUS

監視対象となる S ステータス信号を選択します。SIGa、SIGb、SIGc にそれぞれ任意の S ステータス信号を割り当てることにより、最大 3 つの S ステータス信号を選択できます。



## 5.4 外部アラーム出力設定 (PLATFORM SETUP : REMOTE)

本体のシステム設定のリモート端子設定ページ中の Alarm4 Select の項目により、外部アラーム出力の設定をします。

GENERAL SETUP	ETHERNET	REMOTE				
LV5800 REMOTE SETUP						
Remote Mode	<input checked="" type="checkbox"/> BIT	<input type="checkbox"/> BINARY				
Remote Select	<input checked="" type="checkbox"/> Recall	<input type="checkbox"/> Unit Select				
Alarm Polarity	<input checked="" type="checkbox"/> Positive	<input type="checkbox"/> Negative				
Alarm1 Select	<input checked="" type="checkbox"/> UNIT1	<input type="checkbox"/> UNIT2 <input type="checkbox"/> UNIT3 <input type="checkbox"/> UNIT4 <input type="checkbox"/> ALL UNIT <input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input checked="" type="checkbox"/> A/B				
Alarm2 Select	<input type="checkbox"/> UNIT1 <input checked="" type="checkbox"/> UNIT2	<input type="checkbox"/> UNIT3 <input type="checkbox"/> UNIT4 <input type="checkbox"/> ALL UNIT <input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input checked="" type="checkbox"/> A/B				
Alarm3 Select	<input type="checkbox"/> UNIT1 <input type="checkbox"/> UNIT2 <input checked="" type="checkbox"/> UNIT3	<input type="checkbox"/> UNIT4 <input type="checkbox"/> ALL UNIT <input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input checked="" type="checkbox"/> A/B				
Alarm4 Select	<input type="checkbox"/> UNIT1 <input type="checkbox"/> UNIT2 <input type="checkbox"/> UNIT3 <input checked="" type="checkbox"/> UNIT4	<input type="checkbox"/> ALL UNIT <input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input checked="" type="checkbox"/> A/B				
Error Beep	<input type="checkbox"/> ON	<input checked="" type="checkbox"/> OFF				
COMPLETE	PREV	NEXT				CANCEL

### ●操作

- 
- 
- ・ **SYS** → **F-2** PLATFORM SETUP
  - ・ イーサネット設定ページ (ETHERNET) から **F-3** NEXT
  - ・ 全般設定ページ (GENERAL SETUP) から **F-2** PREV
- 
- 

### ●各項目の設定方法

前面パネル右下のファンクションダイヤル (F・D) を使用し、設定項目のチェックを行います。

### ●設定項目の説明

#### ・ Alarm Select4

UNIT1～UNIT4、UNIT ALL のチェックボックスでユニットを選択します。SDI 入力ユニット以外のユニットが選択されている場合、アラームは出力されません。

A、B、A/B のチェックボックスで以下の設定をします。

- ・ A 選択時、ACH の監視結果のみをアラーム出力します。
- ・ B 選択時、ACH の監視結果のみをアラーム出力します。
- ・ A/B 選択時、ACH、BCH、COMPARE の監視結果をアラーム出力します。

#### ・ Alarm Select4 以外の項目

標準品と同じ操作、設定方法となります。詳細は「LV5800 マルチモニター 取扱説明書」の「7.2.3 リモート端子の設定」をご覧ください。

**リーダ一電子株式会社** <http://www.leader.co.jp>

本社・国内営業部 〒223-8505 横浜市港北区綱島東2丁目6番33号 (045) 541-2122 (代表)